

マイワシ太平洋系群の 資源管理について

令和7年10月24日(金)

令和8管理年度TAC設定に関する意見交換会
水産庁

目 次

1. 資源管理方針見直しの経緯
2. 第5回SH会合のとりまとめ
3. 資源管理の目標(案)
4. 漁獲シナリオ(案)
5. 管理年度途中のTACの調整(案)

1. 資源管理方針の見直しの経緯

令和3年1月	漁業法に基づくTAC管理開始
令和7年5月28日 (※管理開始5年目)	第4回SH会合
令和7年9月19日	第5回SH会合
令和7年10月24日	令和8管理年度TAC設定に関する意見交換会

本日はここ

※ 資源管理基本方針の第9に「農林水産大臣は、直近の資源評価、最新の科学的知見、漁業の動向その他の事情を勘案して、資源管理基本方針についての検討を、当該資源管理基本方針に記載されているそれぞれの水産資源についておおむね5年ごとに行い、必要があると認めるときは、これを変更するものとする。」と規定。

2. 第5回SH会合のとりまとめ

【資源管理方針に規定するもの】

- (1) 資源管理目標及び漁獲シナリオについては、水産庁が示した案を採用する。
- (2) TAC管理の柔軟な運用として、
 - (サバ類太平洋系群でも導入した、) 翌管理年度とのTACの調整のルールを導入する。
 - 留保の使用方法について、
 - ① IQ管理区分への当初上乘せを廃止する
 - ② その代わり、IQ管理区分も留保からの追加配分の対象とする
 - ③ 盛漁期が管理年度の後半である区分のために、管理年度の前半で使用できる留保の数量に制限を設ける

【資源管理方針に規定しないもの】

- (1) 引き続き、資源評価(漁海況状況含む)の精度向上に努める。
- (2) 外国漁船対応について、日本の資源管理の取組が阻害されないように引き続き取り組んでいく。
- (3) (マイワシ対馬暖流系群と同様、) 魚種交代を考慮した資源評価・管理の手法の検討を進める。

3. 資源管理の目標(案)

項 目	令和8 管理年度～	現 行
MSY	47.0万トン	38.9万トン
目標管理基準値 (Target Reference Point: TRP) ＝MSYを達成するために維持・回復させるべき目標となる親魚量	143.2万トン	118.7万トン
限界管理基準値 (Limit Reference Point: LRP) ＝下回ってはいけない資源水準の値。MSYの60%の漁獲量が 得られる親魚量	53.0万トン	48.7万トン
禁漁水準値 ＝MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量	5.3万トン	6.9万トン

4. 漁獲シナリオ(案)

- 親魚量が令和18年(2036年)に、少なくとも50%の確率で、目標管理基準値を上回るよう、親魚量に応じ、次の方法で漁獲圧力を調整する。
 - ア 親魚量が限界管理基準値以上にある場合には、MSYを達成する水準に調整係数($\beta = 1.0$)を乗じた漁獲圧力とする。
 - イ 親魚量が限界管理基準値を下回るが、禁漁水準値以上ある場合には、親魚量の値に応じて上記アの漁獲圧力を更に削減した漁獲圧力とする。
 - ウ 親魚量が禁漁水準値を下回る場合には、漁獲圧力を0とする。
- ABCは、資源評価において示されるその年の資源量の予測値に、漁獲シナリオに基づき算出した漁獲圧力を乗じて算出し、TACはABCを越えない値とする。

表1. 将来の平均親魚量 (万トン)

2036年に親魚量が目標管理基準値案 (143.2万トン) を上回る確率													
β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	
1.0			210.3	234.9	248.5	255.5	254.8	244.6	237.7	233.4	232.2	230.5	100%
0.9	204.3	187.0	214.6	243.5	260.1	268.9	269.1	259.0	251.9	247.3	245.9	244.0	100%
0.8			219.1	252.6	272.4	283.4	284.7	274.9	267.7	262.8	261.1	259.1	100%
0.7			223.7	262.1	285.6	299.1	301.8	292.5	285.2	280.0	278.1	275.9	100%
現状の漁獲圧			184.5	187.1	187.8	188.1	184.9	175.4	170.2	167.7	167.4	166.2	72%

表2. 将来の平均漁獲量 (万トン)

β	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036
1.0		66.1	70.9	77.5	81.5	82.5	81.8	79.8	78.1	76.8	75.7	74.9
0.9	110.3	60.3	65.9	73.0	77.5	78.9	78.6	76.9	75.3	73.9	72.9	72.1
0.8		54.4	60.5	67.9	72.8	74.7	74.7	73.3	71.9	70.6	69.6	68.8
0.7		48.3	54.7	62.3	67.5	69.9	70.2	69.1	67.8	66.6	65.6	64.9
現状の漁獲圧		99.7	96.3	97.5	97.8	95.8	93.5	90.6	88.6	87.6	86.5	85.5

5. 管理年度途中のTACの調整(案)

<発動の条件>

- ・ 翌管理年度のA B Cが一定程度増加する
- ・ 資源水準の値が限界管理基準値以上の水準にある
- ・ 調整の時期が、主要な漁獲時期の前又は最中にある
- ・ 数量追加の上限は、①目標達成確率が50%を下回らない、②漁獲シナリオの漁獲圧力を超えない範囲で決定する

